2024年度第１回ファイナンシャル・プランニング技能検定１級実技試験

Part Ⅰ（2024年６月９日）　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

●設　例●

Ａさん（70歳）は、首都圏近郊のＳ市内の閑静な住宅街にある自宅で妻Ｂさん（66歳）と２人で暮らしている。Ａさんは、大学卒業後に入社した大手上場企業で役員まで務めた後、子会社や関連会社の役員や社長などを歴任していたこともあり、経済的に余裕があり、生活は安定している。

Ａさんは、最近足腰が弱くなったと感じることが多くなり、自身の年齢を踏まえ、そろそろ自身の相続に備えておきたいと考えるようになった。数年前に知人が相続税の軽減のために不動産投資を行った話を聞いたことがあり、先日、不動産会社から勧誘を受けたタワーマンションの購入に少し興味を持っている。

また、昨年、税制改正で話題となった生前贈与について早めに始めるのがよいのではないかと感じている。Ａさんは、これまで株式や投資信託などによる資産運用を通じて金融や経済の仕組みについて学ぶことが多かったことから、長男Ｃさん（35歳）と長女Ｄさん（33歳）には、今年から始まったNISAを活用して投資を経験してほしいと思っている。

【Ａさんの家族構成（推定相続人）】

妻Ｂさん　（66歳）：専業主婦。Ａさんと自宅で同居している。
長男Ｃさん（35歳）：会社員。妻と子の３人で社宅に住んでいる。
長女Ｄさん（33歳）：音楽家。同業の夫と子の３人で夫所有の持家に住んでいる。

【Ａさんの所有財産の概要】（相続税評価額、土地は小規模宅地等の評価減適用前）

１．現預金　　：　１億6,000万円
２．有価証券　　：　２億円
３．自宅
　①土地（400㎡）　：　8,000万円
　②建物（築30年）　：　1,000万円
　合計　　：　４億5,000万円

※Ａさんの相続に係る相続税額は、約１億1,000万円（配偶者の税額軽減、小規模宅地等の評価減適用前）と見積もられている。

【Ａさんが勧められたタワーマンションの概要】

・鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）50階建て、総戸数700戸、最寄駅から徒歩５分
・築７年、40階に所在、専有面積70㎡、２LDK、市場価格9,000万円
・想定賃料月額28万円、諸経費控除後の年間の収入（手取り）は210万円
・マンション管理組合に支払う管理費は月額２万2,000円、修繕積立金は月額8,000円

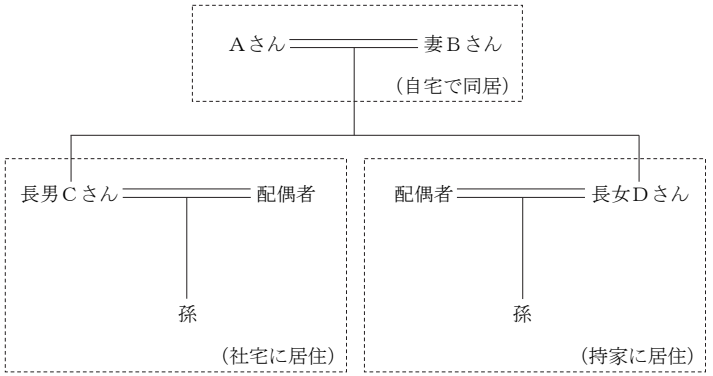
なお、Ａさんは、役員時代から付き合いのある金融機関の担当者から「一時払終身保険を活用した相続対策はいかがですか」との提案を受けている。

（注）設例に関し、詳細な計算を行う必要はない。

検討のポイント

●設例の顧客の相談内容および問題点として、どのようなことが考えられるか。
●それらの相談内容および問題点を解決するために、どのような提案・方策が考えられるか。
●それらの方策（解決策）のなかで、何を顧客に提案するか。その理由・留意点は何か。
●ＦＰと職業倫理について、どのようなことが考えられるか。

【親族関係図】



（メモ余白）